

## 基礎検査の時期と内容

♣基礎検査として基本的にお勧めしている検査です。

◎自費の検査です。別紙を参考にしてくださいご希望の方に検査を行います。

☆医師が必要と判断した場合、説明させていただきます。

### 初診時に行う検査

♣**超音波検査**…子宮や卵巣の状況を確認します。

♣**血液型・Rh**

♣**クラミジア抗体採血**

♣**風疹・麻疹抗体採血**

♣**甲状腺機能採血**

♣**ビタミンD採血**

♣**子宮頸部細胞診(子宮頸がん検診)**

それぞれの検査については  
「初診時に出来る検査」を  
参照してください。

### 月経3～5日目の検査

♣月経中ホルモン採血

**LH/FSH**…脳下垂体より分泌されるホルモンです。

排卵指令の役割や卵胞を育てる役割があり、月経中に測定することで

卵巣が働いているのかホルモンバランスを確認していきます。

**PRL**…脳下垂体から分泌され、乳汁を出す役割を持っています。

値が高くなると排卵抑制が起こります。

◎**AMH(アンチミュラーリアンホルモン)**…卵巣の予備能力を見ていきます。

詳細は別紙(アンチミュラーリアンホルモン 卵巣の予備能力検査のご案内)参照してください。

◎**抗精子抗体**…精子の動きをストップさせてしまう抗体があると、

タイミング法よりも人工授精や体外受精をお勧めすることになります。

※検査や処置後に強い腹痛や発熱などがあった場合は診療時間内に当院へご連絡下さい。  
診療時間外に関しましては、本院のアルテミスウイメンズホスピタルへご連絡下さい。

### 月経6～9日目頃の検査

♣**子宮卵管造影検査**…卵子や精子の通り道である卵管の通過性や子宮内腔の形を見ていきます。検査後は通過性が良くなると言われているので治療も兼ねた検査です。

☆**子宮鏡検査**…細いファイバースコープカメラを腔から子宮に挿入して子宮内腔を観察します。ポリープや粘膜下筋腫・子宮内腔の癒着などを確認します。必要な方のみに行います。

☆**通色素検査**…子宮鏡で卵管に細い管を挿入して色素を注入し卵管通過性を調べます。造影剤のアレルギーがある方や造影検査で閉塞が疑われた場合など、必要な方のみに行います。

### 月経13～14日目(排卵前)の検査

♣**超音波検査**…卵胞の発育具合を確認します。

♣**ヒューナーテスト(性交後試験)**…子宮内に精子が進入しているかを確認する検査です。排卵日頃の前夜または朝に性交した後に来院し頸管粘液を採取し、その中に精子がどれくらいあるかを確認します。

♣**尿中LH検査**…超音波で卵胞が十分大きくなったことを確認することと、LH検査薬を使用することでタイミングの時期をお伝えします。

### 高温期1週間目頃に行う検査

♣**超音波検査**…子宮内膜の状態(厚さ・性状)と排卵したかをみていきます。

♣**高温期ホルモン採血**

**E<sub>2</sub>(卵胞ホルモン)**…卵巣から分泌されます。頸管粘液の分泌や子宮内膜を育てる役割があります。

**P<sub>4</sub>(黄体ホルモン)**…排卵後の黄体から分泌される。子宮内膜を厚く維持し、

妊娠維持に大切なホルモンです。

♣**血算採血(貧血検査)**

### 夫の検査

♣**精液検査**…出来るだけ早めの検査をお勧めします。詳細は別紙(精液検査について)を参照してください。

ウイメンズクリニック大泉学園 ☎03-5935-1010  
アルテミスウイメンズホスピタル ☎042-491-6111